

0歳児からの

IT機器利用と
保護者の情報モラル

KEIRIN
OO

本事業は競輪の補助を受けて実施しています。

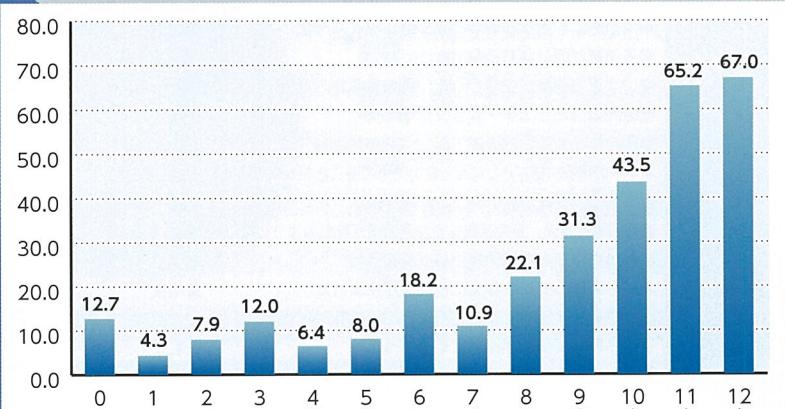
JAPET & CEC 一般社団法人 日本教育情報化振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル8階 TEL 03-5575-5365 FAX 03-5575-5366 <http://www.japet.or.jp/>

0歳児でスマートフォンの専用利用も！乳幼児を含めた

子どもは
どれくらい
専用で
スマートフォンを
使っているの？

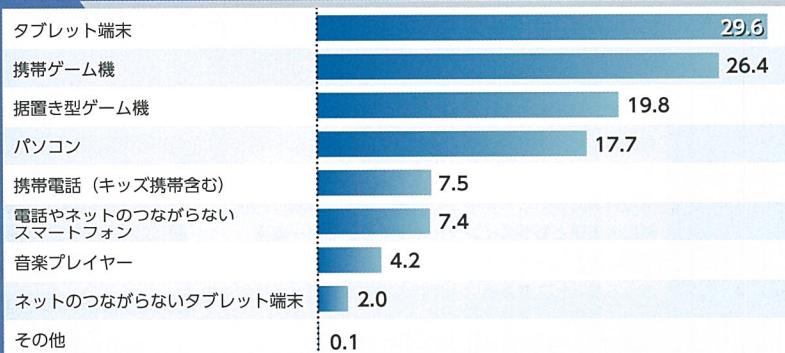
図1 子どもがスマートフォンを専用で使っている比率



(単位：%)

子どもは
スマートフォン
以外にどんな
情報機器を
使っているの？

図2 子どもがスマートフォン以外に使っている情報機器



(単位：%)

ゲーム機の利用も少な
くありません。過剰な
利用をしていないか
チェックが必要です。

○スクリーニング条件

- ①末子が12歳以下
- ②末子にスマートフォンを使わせている。

○本調査

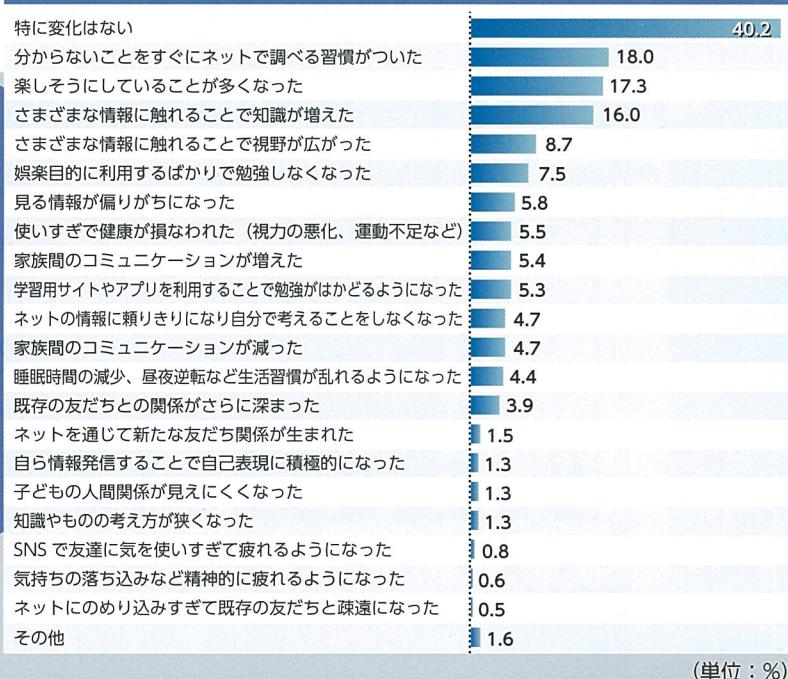
調査日：2017年
10月10日～16日
有効回答数：母親回答 1,671人



スマートフォンを使って 子どもに どんな変化があるの？

子どもが スマートフォンを 安全に使うには？

図5 子どもがスマートフォンを使い始めたときからの変化



(単位：%)

- 「ネットで調べる習慣がついた」「楽しそうにしている」「知識が増えた」など肯定的な回答が多い一方で、「勉強しなくなった」「見る情報が偏りがちになった」「考えることをしなくなった」という否定的な回答もありました。

- これだけネットが普及した状況だからこそ、じっくり思考して解決していく場の設定も求められます。

図6 子どもがスマートフォンを安全かつ
適切に活用する力を持つために、母親が有効だと思っている事柄

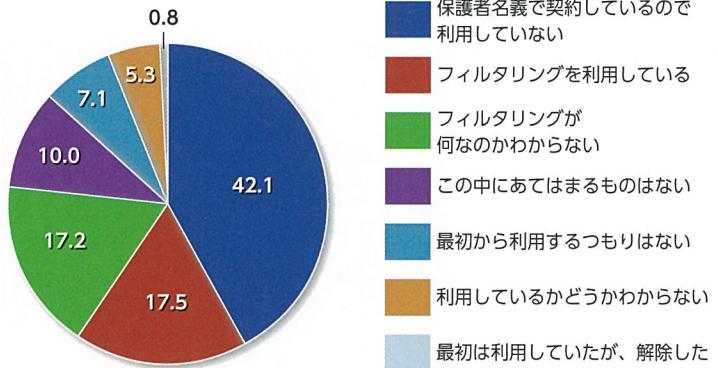


(単位：%)

- 多くの人が保護者の役割の重要性を認識しています。
- 保護者に向けて、情報モラルの内容を理解してもらう働きかけが重要です。
- そのためにも保護者にさまざまな情報を提供することが効果的です。

子どものスマートフォンにフィルタリングはあまり利用されていない

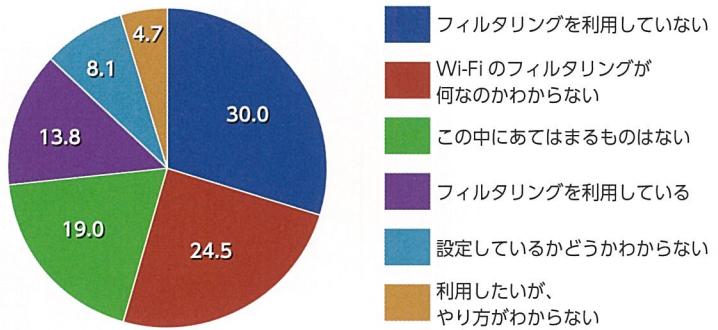
図7 子どものスマートフォンにフィルタリングを利用している比率



- 子どものスマートフォンにフィルタリングはあまり利用されていないのが実態です。
- 保護者が購入して子どもに使わせている場合、フィルタリングがかけられていないことがあります。
- 保護者にフィルタリングの必要性を理解してもらうことが重要であり、特に子ども名義に切り替える際がポイントとなります。

保護者は、子どものスマートフォンにWi-Fiのフィルタリングをほとんど利用していない

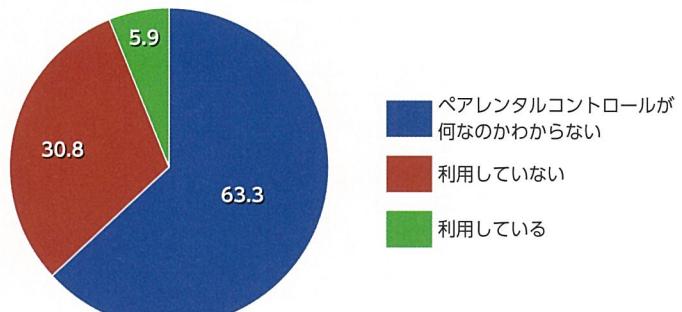
図8 子どものスマートフォンにWi-Fiのフィルタリングを利用している比率



- Wi-Fiのフィルタリングが何だかわからないという保護者もいます。
- Wi-Fiのフィルタリングの意味と必要性を理解してもらうことが重要です。

保護者はペアレンタル・コントロールを知らない

図9 子どものスマートフォンでペアレンタル・コントロールを利用している比率

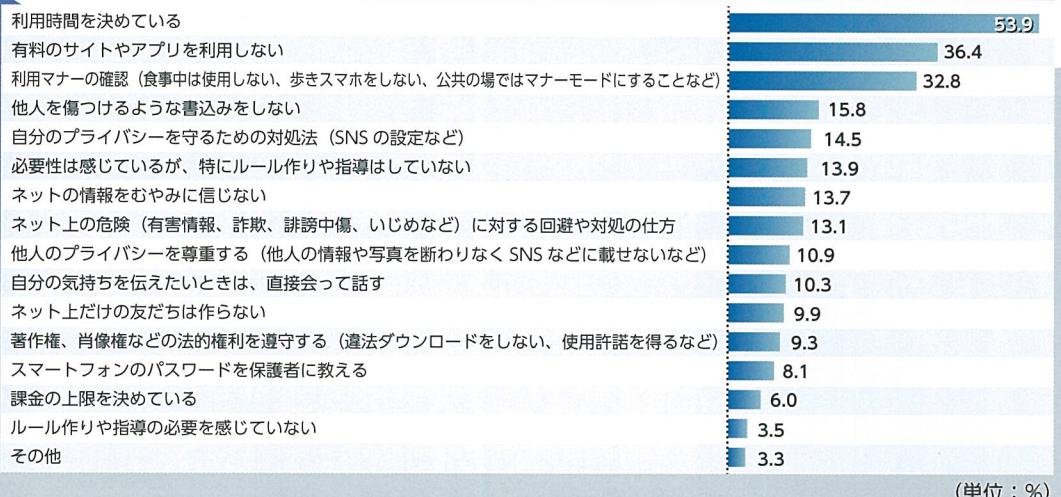


- 多くの保護者はペアレンタル・コントロールを理解していません。
- ペアレンタル・コントロールの意味や利用のしかたを理解してもらうことが大切です。
- ルールを作り、子どもも納得した上でペアレンタル・コントロールを利用すると、より効果的です。



保護者はどんなルールをつくり、指導しているの？

図 10 スマートフォンの利用について、子どもにどのようにルール作りや指導をしているか。

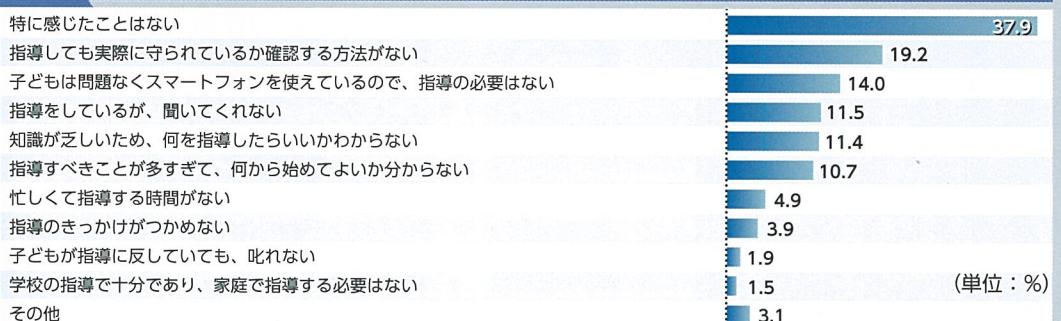


(単位：%)

- ・利用時間や利用マナーなど使い方に関するルールが多い一方で、トラブルや安全など利用内容に関するルールづくりは不十分です。
- ・中にはルールづくりや指導をしていない保護者もいます。
- ・子ども専用のスマートフォンを所有させる際には、トラブルや安全など利用内容に関するルールについても話し合うことが大切です。

保護者は子どもへの指導について、どのように感じているの？

図 11 子どもへの指導について感じていること



(単位：%)

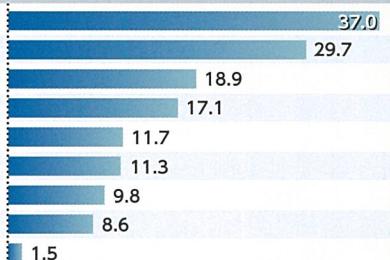
- ・とくに問題を感じていない保護者やどのように指導していいのかわからない保護者が少なくありません。
- ・悩んでいる保護者へのフォローが必要です。
- ・子どもが幼いときこそ、スマートフォンの利用状況について子どもとよく話し合うことが大切です。



子どものスマートフォンの利用にどのように対応しているの？

図12 子どもへの指導について感じていること

- 何もしていない
- 可能な時はスマートフォンで何をしているか後ろから観察している
- スマートフォンにどのようなアプリが入っているかチェックしている
- 子どもが利用しているアプリを自分でも使っている
- サイトの閲覧履歴をチェックしている
- 毎月の利用明細をチェックしている
- スマートフォン向けのウイルス対策ソフトを入れている
- LINEや他のSNSでどのようなメッセージをやり取りしているかチェックしている
- その他



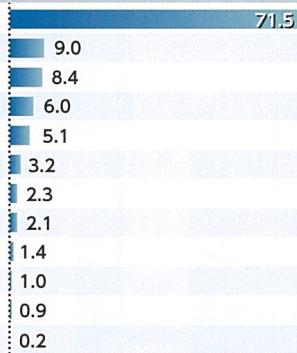
(単位：%)

子どもの利用状況を確認することはなかなか難しいことですが、子ども専用のスマートフォンになると、さらに対応が難しくなるので、子どものスマートフォンの利用について日頃からよく目配りをしておくことが重要です。

子どもはスマートフォンでどのようなことを経験しているの？

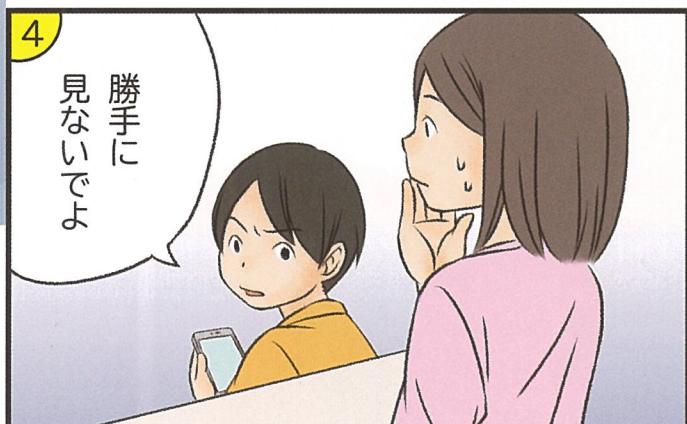
図13 子供がスマートフォン利用で経験したこと

- 上記の被害にあったことはない
- 知らない人からメールやメッセージがきた
- 把握していない
- 有害サイト・アプリ（ポルノ、犯罪、自殺など）の利用・閲覧
- 架空請求・不当請求を受ける
- 使いすぎによる高額請求を受ける（架空請求・不当請求ではない）
- ネット上で言い争いや誹謗中傷などにあう
- 自分から不用意にプライバシー情報を公開してしまう
- いたずらや悪ふざけの画像・動画を投稿する
- 他人にプライバシー情報をさらされる
- 違法にアップロードされた動画や音楽をダウンロードした
- ネットの書き込みの削除ができなかった



(単位：%)

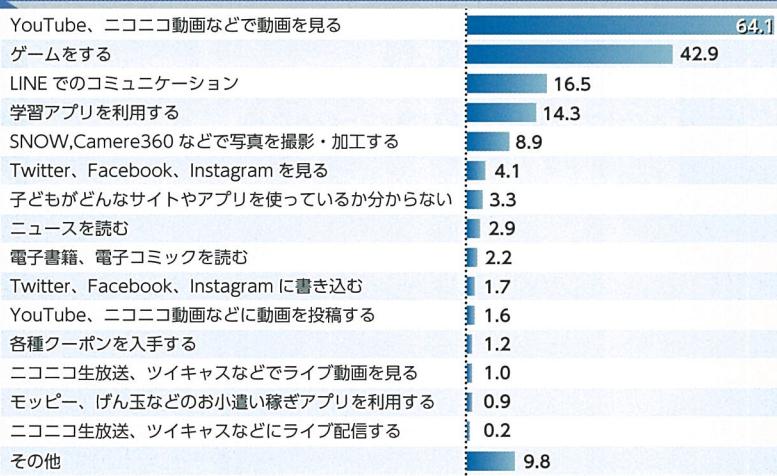
まだ、ほとんどの子どもが被害を経験していませんが、子ども専用のスマートフォンになり、利用頻度が増えると、さまざまなトラブルに巻き込まれる可能性が高くなるため、早いうちから注意しておくことが必要です。



子ども、保護者のスマートフォンの利用実態を紹介します。

子どもはどんな
サイトを見て、
アプリを
使っているの？

図3 子どもがスマートフォンでほぼ毎日利用しているサイトやアプリ

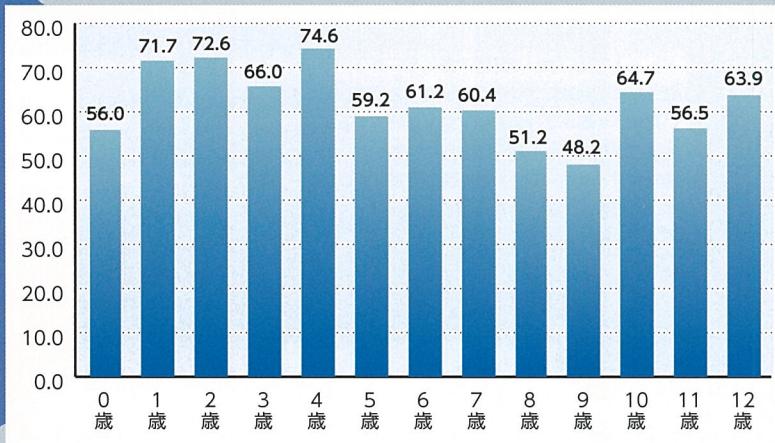


(単位：%)

多くの子どもが動画を視聴し、ゲームも利用しています。一方で、学習アプリを使っている子どももいます。

年齢と
動画視聴の関係

図4 年齢ごとのYouTube、ニコニコ動画などで動画を見ている子どもの比率



(単位：%)

動画は子どもの興味を引くようです。従来の文字・静止画の情報では物足りなさを感じる子どもも出てくる可能性があります。



母親の ネットでの 行動は？

図 14 母親のネットでの行動

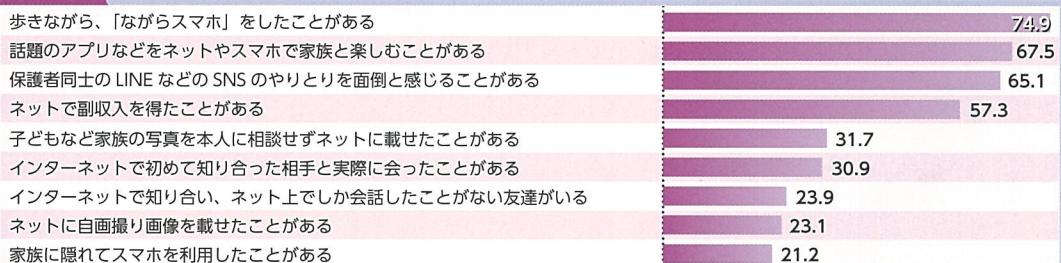


(単位：%)

多くの保護者はマナー、モラル、法を守り責任ある利用を心がけ行動しています。親が守っているルールやマナーについて、子どもにもよく話してあげましょう。

母親はネットで どのような経験を しているの？

図 15 母親自身のネットでの経験



(単位：%)

- ・ながらスマホをするなど、子どもに「してはいけない」と指導していることを守っていなかったり、保護者同士のSNSのやりとりを面倒と感じたりすることもあるようです
- ・子どもの見本となる行動をとるように、保護者にも必要に応じて注意喚起もしていくことが求められます。



一般社団法人日本教育情報化振興会 info@japet.or.jp

●委員

東京大学大学院情報学環 教授 橋元良明
エンジエルズアイズ 代表 遠藤美季
一般社団法人インターネットユーザー協会 代表理事 小寺信良
筑波大学人文社会系 教授 土井隆義
千葉大学教育学部特命教授・附属中学校副校长 三宅健次
帝京中学高等学校 教諭 三輪清隆
東京大学大学院学際情報学府 博士課程 堀川裕介

●制作・編集

イラスト制作 ヤマネアヤ
ページレイアウト 新里真美
編集 藤田由美子